

兵庫版

尼崎市名神町1丁目9番
兵庫県借地借家人組合本部
発行人 田中祥晃
☎06-6429-1500
www.syakuya.com



毎月1回15日発行
定価1部150円
東京都新宿区新宿
全国借地借家人
組合連合会

家主の強引な賃料値上げに団結し 組合員4名の要求が認められた

昨年9月頃、西宮市内の文化住宅2棟(10世帯)に対し、家主から突然、現行31,000円の家賃を51,000円に値上げすると一方的に通告してきた。不服なら出て行けと問答無用の要求に驚きました。

居住者の中に西宮市議員の野口あけみ市議が後援会事務所を借りており、ここに相談が持ち込まれました。

組合で早速、近くの集会所で相談会を開き、学習会を持ち、家賃値上げは、家主が一方的に決められないこと。立退きは正当事由がなければ立ち退かなくてもよいこと。これを跳ね返すには、皆が組合に入り、家主と交渉すること等学習し、野口市議は組合員でありましたが、ほかの3名が加盟し、4名が結束して頑張ることになりました。

話し合いの場を持つことを約束しました。12月15日に文化住宅の近くの集会所で家主側3名と借家人4名と田中組合長と事務局をはじめ西宮の役員4名でテーブルを囲み話し合いが持たれました。その結果、1、家賃値上げ2万円を令和2年1月分より、月額2,000円にすること。2、文化住宅2棟の通路修繕と点検をすること。3、2階北端の住まいの人の屋根の雨漏りを補修すること。4、約10年前に保証人が亡くなった為、保証人の追加要求をしないこと。5、今までの家賃を戸別集金を銀行振り込みにするこの5項目について合意し、家主は借家人に対し5項目を「確約書」に署名捺印し、円満に解決することになりました。

正月明けに解決して

「良いお正月」を迎えることができた。組合に電話が入りました。今まで高圧的だった家主がおとなしくなり、したと喜びを語り、今後助けてもらったから助ける側になり、組合運動に参加することを語ってくれました。

新春のつどいを開く ブラック企業の内幕を暴く 三宅勝久さん リメイクした洋服で ファッションショー大盛り上がり

20年1月18日(土) 午後1時より、市内の小田南生涯学習センターで40名の組合員の参加で盛大に「新春のつどい」が開かれた。つどいは大塚事務局長の司会と田中組合長の挨拶ではじまり、尼崎あおぞら法律事務所、菊田弁護士、年金者組合の広瀬尼崎支部長の来賓あいさつがありました。

第一部として、ジャーナリストの三宅勝久さんのブラック企業のサ
ブルースを行っている「大東建託の内幕、アパート経営商法のヤミを追う」と題して講演を1時間に亘り講演をしていただきました。

第二部のお楽しみ懇親会に入り、大塚事務局長の司会ではじまり、田中玲子常任理事の乾杯があり、会席弁当と飲み物とおつまみでしばらくテーブルを囲んで歓談、時間を見計って戸川さんの名調子の尺八と和田副組合長が尺八に合わせて民謡を歌って拍手喝采で大盛り上がりでした。

参加者から発言もあり、7軒長屋でヤクザまがいの地上げ屋との闘いで6年間頑張り2度目の裁判でも7人全員が団結して頑張っている報告があり、参加者は感銘を受けました。

大地主の横暴な更新料、承諾料の請求を跳ね飛ばし、今、地代の賃料値上げで、みんな拒否して頑張っている発言で「住み続ける権利」を守って闘っている参加者に大きな拍手を送りました。

最後に「女子会」が中心になって田中玲子先生の指導の下に家で眠っている着物を生かして2年前より毎月1回第1火曜日、リフォーム教室が行われ、会場が出来上がったリメイクされた服やバックなどが展示されました。

リフォームされた服を田中組合長はじめ男性役員、女性役員、ジャーナリストの三宅さんもリメイクした洋服を着ていただき、ファッションショーが始まり笑いと拍手で懇親会は最高の盛り上がりでした。

三宅さんの本もすべて売りつくし、今までにない楽しい新春のつどいが大成功で終わることが出来ました。



5項目の要求実現に喜ぶ借家人の皆さんと組合役員

家主に対して組合名で値上げについての話し合いの窓口となることを通知したら、家主が組合にやって来て、家賃値上げは借家人との合意で決まること。立退きには正当な事由がなければ借家人を立退かせないことを知っていただき、家賃値上げについて組合が中に入って両者



正月明けに解決して